百五十周年・閉校記念事業の概要

(1)『創立百五十周年記念誌』の編集

令和４年６月江住小学校150周年記念事業実行委員会として組織したが、９月議会で閉校が決定したため、教育長からの依頼があり、閉校記念事業実行委員会としての事業も担当することとなった。

記念誌は、小倉重起、片倉素和子が中心となり山口仁美校長が事務局を担当し、資料と情報の収集と集約を行った。基本的な編集方針を「江住小学校と地域の歴史と文化を記録として後世に残すもの」とし、『江住小学校百年史』以降の学校と地域の歴史と文化を可能な限り資料として収録することとした。貴重な資料も保存されており、出典や執筆者が不明のものもあったが、参考資料として掲載したものもある。印刷部数600部。

(2)『江住小学校閉校記念碑』の建立

実行委員会の石碑・式典グループは石川明、仲哲生、斧進が担当した。使用した石は地元の天然石。『江住小学校　閉校記念碑　令和五年三月吉日建立』と彫り、揮毫したのは、塩谷福夫氏（旧職員）である。白浜町の壺田石材店に発注した。

(3) 映像記録の編集

実行委員会の映像編集グループは、山形勇真、橋本由紀、永野未訓が担当した。映像編集は、映像制作会社ガダバウツに制作を依頼し、校舎内外の様子、校舎全景、外構などをドローンなどを利用した空撮を含めたものの他に、これまで学校で保存していた写真及び映像記録のあるデータから作成したものである。「江住小学校150周年・閉校記念」DVD（約10分）600枚作成。

記録映像のDVDは、江住小学校沿革史とともに保管。

(4) 学校開放・見学事業





閉校決定に伴い令和５年１月１日～２日まで、地域住民、帰省した卒業生などを対象に、校舎内を開放し、見学の機会を提供した。３階の教室には、学校で保存していた写真、アルバムなどを展示・閲覧を行った。江住・江須之川地域の区内放送及び江住、里野、江須之川においてチラシや回覧板で周知したところ、２日間で約100名の来校者があった。

(5) 江住小学校閉校式及び150周年・閉校記念行事

令和５年３月26日（日）、江住小学校体育館において江住小学校閉校式及び150周年・閉校記念行事を挙行する。

午前９時30分よりすさみ町・すさみ町教育委員会・江住小学校主催の江住小学校閉校式を挙行し、午前10時30分より江住小学校150周年・閉校記念事業実行委員会主催の150周年・閉校記念行事を行った。記念行事では、「卒業生のことば」に続いて、江住小学校150周年・閉校記念DVD（約10分）の映像を上映した。その後、江住小学校閉校記念碑除幕式を行い、餅まきをして終了した。